

読書活動推進NEWS

こちらのQRコードから、閲覧・ダウンロードができます→



読書活動支援者育成事業 南会津地区研修会 ①

8月6日(水)、南会津町御蔵入交流館において、子供たちの読書活動推進に向け、読書活動支援者の育成や資質向上を図ることを目的とした、読書活動支援者育成事業南会津地区研修会を開催しました。

当日は、図書ボランティアや小中学校教員、公民館の方など読書活動支援に関わる方だけではなく、読書好きな一般の方が参加されました。童話作家のすとうあさえさんに東日本大震災後、JR貨物が中心となって実現した、「緊急燃料輸送」のニュースをテレビで見て感動し、直ちに取材活動を始め絵本にした経緯や読み語りを通して震災を語り継ぐ伝承活動などについて講演していただきました。



童話作家 すとうあさえ 氏

講演「震災から14年『はしれディーゼルきかんしゃデーデ』を通して子供たちに伝えたいこと」

～参加者の感想から～

震災当時、燃料不足が危機的な状況の中で、ディーゼル機関車が活躍していたことを知ることができました。今の子どもたちにも伝えていきたいと思いました。

震災を知らない子どもたちでも興味をもちやすい内容だったので、ぜひ読み聞かせに取り入れたいと思います。

読み聞かせは未経験ですが、とても参考になりました。心を打つ読み方があるのだと知りました。学校にはとてもよい絵本がたくさんあるので、児童にもたくさん紹介したり、読み聞かせの機会を作ったりしていきたいです。



すとうさんの読み方に、とても感動しました。また、心にしみる表現がたくさんありました。この研修会に参加することができてよかったです。



<童話作家のすとうあさえさん>

すとうあさえさんは、東日本大震災において、燃料輸送のために尽力したディーゼル機関車のエピソードを通して、東日本大震災の伝承活動にも力を入れていらっしゃる方です。

講演会では、すとうさんの読み聞かせを聞き、その後、取材活動で様々な方に協力いただいたこと、走り出すときや走行が困難な場所では、運転士がディーゼル機関車に話しかけ一緒に震災を乗り越えたエピソードなど、絵本作成の裏側についてもお話していただきました。